



花火大会 (平成18年8月5日)



海向寺の灯籠流し
目でみる酒田市史



最上川河口での凧あげ
(平成2年頃)

くらし



「きうり天王様」
追憶の鵜渡川原画集



「七夕流し」
追憶の鵜渡川原画集



「沈床でゲンソを釣る」
追憶の鵜渡川原画集

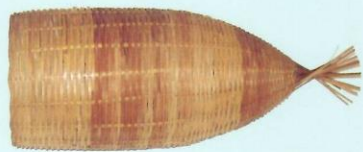


中野侯の虫送り (昭和末頃)
平田歳時記

どうぐ



継竿



なまず笄



ピク



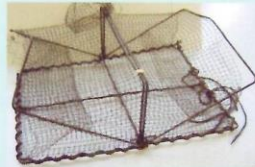
箱めがね



カンテラ



ハツ目笄



カニ捕り網



イケス



ヤス



タモ

第145回企画展示

絵と写真でみる 最上川・新井田川風景

【開催期間】

平成19年

1月4日(木)～
3月11日(日)

【開館時間】

午前9時～午後4時30分

【休館日】

毎週月曜日

(祝日の場合は翌火曜日)

【入館料】

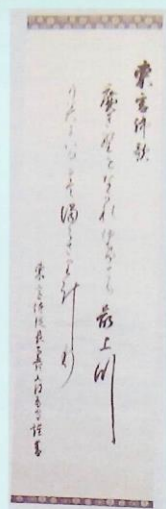
大人 100円

小学生～大学生 50円

(小・中学生は土・日無料)



イキスカで泳ぐ



山形県民歌「最上川」(酒田指定文化財・光丘文庫蔵)

酒田市立資料館

酒田市一番町8番16号

TEL・FAX 0234 (24) 6544

e-mail sakata-city-museum@fork.ocn.ne.jp

開催にあたって

私たちは、最上川と新井田川から、水をはじめ魚介類など日常生活の糧を得たほか、人の交流や物資の輸送路、そして憩いの場や穢れの祓い所などとしても利用し、大きな恩恵を受けてきました。加えて、山形県民歌や『古今和歌集東歌』はじめ、多様な文学作品や校歌などにも取り込まれています。その一方で、時には悲惨な洪水の災いももたらしました。このため、明治以降、大規模な護岸や治水の工事が行われ、川を取りまく風景もずいぶん様変わりしています。さらに、心の豊かさを求める社会の要求によって、河川を取り込んだ親水空間や最上川桜回廊の整備なども進められています。

本企画展では、今は見るができなくなった最上川や新井田川の風景を絵画や写真で見るとともに、流域で生活していた人びとの生活道具を紹介し、これらの河川が私たちにもたらした恵みについて考えます。

「絵と写真でみる最上川と新井田川風景」展の開催にあたり、貴重な資料を快くご提供くださいました関係機関、各位並びにご協力くださいました多くの方々に心からお礼申し上げます。

酒田市立資料館



荒興野の護岸 昭和30年
(最上川改修百年記念誌)



「1682年の大洪水」
追憶の鶴渡川原画集

か



「最上川」 遠藤 賢 松山文化伝承館蔵

資料提供及び協力者

- 肴町秋葉神社
- 旧阿部家
- 光丘文庫
- 浜田学区コミュニティ振興会
- 松山文化伝承館
- 三浦素子 氏

と



絵馬「投網の図」



「最上川の落ちスズキ釣り」
追憶の鶴渡川原画集



「夜の川カニ漁」
追憶の鶴渡川原画集

最上川四ツ手網漁(大正期)



ハツ目漁 (昭和未頃)
松山町史年表



「ハゼひぼり」
追憶の鶴渡川原画集



「ボラ流し漁」
追憶の鶴渡川原画集

は



「筏流し」
追憶の鶴渡川原画集



(小鵜飼舟) 免許鑑札 (艀舟)



砂利取り舟 (昭和初期)
目でみる酒田市史



「中瀬の渡し場」
追憶の鶴渡川原画集



青苧と紅花染

小鵜飼舟 (模型)



宮野浦の渡し場 (昭和34年)
目でみる酒田市史